



2月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和6年2月1日

朝、Kちゃんが赤い蕾のついた小枝を握りしめながら園バスで登園してきました。「梅って言うんだよ。」「暖かくなると花が咲くんだよ!」と教えてくれました。お母さんがお話ししながら持たせてくれたのですね。朝からほっこりとした気持ちになりました。

子どもたちは、お正月遊び、郵便屋さんごっこ、ドッチボールや縄跳びなど、毎日生き生きと遊んでいます。自由保育参観では、夢中になって活動に取り組んでいる姿やお友だちとよく関わって楽しく遊ぶ姿に成長を感じられたことと思います。手先が器用になったさくら組さんでは、指編みやリリアンでマスコットを作ったり、「竹とんぼを作りたい!」というお子さんの声に耳を傾け、先生がいろいろ調べて“よく飛ぶ竹とんぼ作り”をしました。少し難しい箇所もありましたが、試行錯誤しながら自分で作れるようになったり、高く飛ばせるようになったりしています。このような遊びを通して『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』における、健康な心と体、自立心や共同性、思考力の芽生え、豊かな感性と表現などにつながっていることが伺われます。

また、2月24日(土)のわくわくキッズコンサートに向けて、童謡や英語の歌、楽器演奏に取り組んでいます。1部はもも組とばら組、2部・3部はすみれ組とさくら組とご覧いただきます。もも組さんは、手作りの楽器で演奏を披露します。ばら組さんは年少さんらしい可愛い歌や楽器を演奏する姿をお楽しみいただきます。すみれ組さんとさくら組さんは、それぞれの成長に合わせた曲をお友だちと心と音を合わせて発表する姿に成長を感じられることと思いますので、皆様お揃いでおいでください。

昨今、いわき市内でも胃腸炎やインフルエンザ、コロナウイルス感染症など流行していますので、引き続き感染対策にご協力いただきながら、一年間の総まとめの時期を大切に過ごして参りたいと思います。

2月3日は節分です。冬と春の区切りとされ翌日は立春となります。昔は立春をお正月とし、お正月の前日に無病息災、五穀豊穰、邪気を払う行事として豆まきが全国の神社などで行われ広く一般家庭でも行われるようになりました。各ご家庭の玄関先に柊のトゲと鯛の匂いが鬼の嫌いなものとして、豆がらに柊の葉と鯛の頭を付けて、各ご家庭の玄関先に飾ります。こども園でも、神棚にお供えした豆を、大きな声で「福は内」「鬼は外」と掛け声をして豆まきを行います。